

検討している。納付の意識向上に努めるとともに、払えるのに払わない人については、強い態度での徴収に努めたい。

答 (田中助役)

現在、本庁・両支所に専門の嘱託徴収員を1名づつ配置、5月からは、関係課長・徴収員で組織する対策会議を毎月開き努力している。

差押えについても、必要な準備はしておくよう指示しているが、新しい町になったばかりであり、不公平感を生じないように慎重に取り組みたい。

答 (田中助役)

滞納者それぞれに事情が違い、優先劣後で不公平感を生じないかという懸念であり、強い態度で徴収にあたる気持ちに変わりはない。不動産差押えの例はないが、給与差押えも何件か行っている。

問 (二宮議員)

滞納の問題は、過去10年、15年かけ、何度か議論を進めた。「今なお調査を必要とする」では議論が後退する。90%以上の善良な納税者より、滞納者への配慮が優先するのか。

答 (山口町長)

問 (川島議員)

差押えという行為は正当な行為であり、合併した今だからこそ進めるべきでは。

滞納することを甘んじて許してよいとは思っていないが、差押え等の強制執行には法的な準備なり、それなりの体制が必要。本当に悪質なものに対しては、強制執行を行わなければならぬ時期にきていると認識している。

ばならない時期にきていると認識している。

問 (野口議員)

4月28日に口座から引き落とされた軽自動車税の領収書の日付けが5月9日になっていた。なぜか。

答 (坂田税務課長)

町の会計課が金融機関から収納した日付けを領収日とした。手続き上、問題はない。※不要な混乱を避けるため、5月末納期の固定資産税から、引き落とし日を領収日としている。

問 (野口議員)

旧大山焼却場の解体工事前調査委託料が850万円計上されている。解体工事には何千万円もかかると思うが、国・県の補助はあるか。

答 (福田住民生活課長)

補助制度はない。18年度の解体を計画している。

問 (荒松議員)

財政が厳しい中、不要な町有地は売却処分も検討すべきと思うが、統合した名和小学校が完成した後、光徳小・庄内小学校の校舎はどの様に利用するのか。

答 (山口町長)

必要な財産はきちつと町民のために確保すべきで、町民の多くが活用できる方法を第一に考えるが、住民サービス上の必要性が薄くなれば、売却処分等も検討する。

問 (近藤議員)

大山地区で不審火とみられる火災が続発している。防犯対策は十分か。

答 (山口町長)

住民の安全・安心・財産を守ることが行政の究極の使命であり、憂慮している。行政としてできることは対応し、また消防団の協力も頂いているが、地域住民が災害・火災・不審者から自分達の地域を守る取り組みも必要。自主防災の組織づくり、意識啓発も進めたい。



10月16日に行われたリハーサル大会(ソフトバレーボール)

問 (岡田議員)

18年度には大山町で全国スポーツレクリエーション祭(ソフトバレーボール・3B体操)が開催される。同祭大山町実行委員会への140万円の補助金の内訳は。

答 (きたた)

10月にリハーサル大会を予定しており、その費用と委員旅費。